

スナックエンドウの特性と栽培法

中村 正輝・中村 毅*

(岩手県園芸試験場高冷地開発センター・*岩手県立農業短期大学校)

Characteristics of Snap Peas and It's Cultivation Method

Masaki NAKAMURA and Takeshi NAKAMURA*

(Highland Cool-zone Development Center, Iwate Horticultural
Experiment Station・*Iwate Prefectural College of Agriculture)

1 は し が き

新作目として、昭和54年から栽培導入された、スナックエンドウは、サヤエンドウの同種異名的考えで栽培されているが、特性を知り、安定生産を目的に栽培法について検討したので、その結果を報告する。

2 試 験 方 法

(1) 供試条件

1) 試験区の構成

	育苗移植	直 播	直播アーチ形 ネット支柱
黒マルチ	①	③	⑥
裸 地	②	④	⑤

2) 供試品種：スナックエンドウ

3) 1区面積及び区制：1区14.4～19.2 m²，2区制

(2) 耕種概要

1) 播種期：育苗4月10日(4月25日定植)，直播4月25日

表1 生育調査

試験区	項 目	発 芽			生 育		収				穫		
		発芽始 (月日)	発芽期 (月日)	発芽率 (%)	着英節 (節)	着英高 (cm)	草 丈 (cm)	分枝数 (本)	開花始 (月日)	収穫始 (月日)	播 種 後日数 (日)	収穫終 (月日)	収 穫 日 数 (日)
昭 55	① 黒 マルチ育苗移植	4. 18	4. 19	78	12.7	78.4	349	3.1	6. 9	6.23	74	8. 18	57
	② 裸 地 育 苗 移 植	4. 18	4. 19	77	11.1	72.5	339	3.0	6. 9	6.23	74	8. 18	57
	③ 黒 マ ル チ 直 播	5. 6	5. 7	83	13.6	88.7	350	3.4	6. 13	6.27	63	8. 18	53
	④ 裸 地 直 播	5. 6	5. 7	96	13.4	88.1	330	3.1	6. 16	6.30	66	8. 18	50
	⑤ 裸地直播アーチ ネット支柱	5. 6	5. 7	98	13.1	87.2	328	3.2	6. 13	6.27	63	8. 18	53
	⑥ 黒 マ ル チ 直 播 アーチネット支柱	5. 6	5. 7	71	13.9	86.9	335	3.3	6. 13	6.27	63	8. 18	53

③ 着莢節位は、育苗区11.9節，マルチ直播区13.8節，裸地直播区13.3節であり，直播区が育苗区より約1節高い傾向を示し，着莢高も育苗区が72～78cmに対し直播区87cmで育苗区より10cm程高い。

1次分枝の発生数は各区3本位で区間差は少ない傾向を示した。

④ 収量(上莢)，10a当たり収量は，育苗マルチ区2,405

2) 栽植距離：畦幅120cm，株間20cm，2本立，10a当たり4,160株，マルチ区は95B穴なしフィルム使用。

3) 施肥量(kg/a)：基肥～堆肥-200，炭カル-15，N-0.96，P₂O₅-1.28，K₂O-0.96，追肥～N-0.64，P₂O₅-0.12，K₂O-0.64

3 試験結果及び考察

(1) スナックエンドウの特性

① 発芽率は育苗区78%，マルチ直播区77%，裸地直播区94%で裸地直播がまさり，発芽日数は育苗区で8日，直播区で11日であった。

② 開花開めは，育苗移植区で6月9日(播種後60日)直播区で6月13日で，開花後収穫までの日数は14日であった。

収穫始めが育苗区で6月23日(播種後74日)，直播区6月27日(播種後63日)であり，裸地，マルチの差はみられなかった。

kg，裸地直播区(標準)1,778kg，マルチ直播区1,868kgで，育苗マルチ区は標準区比135%で最も多収であった。

育苗することにより各区とも約10%の増収効果が認められたが，直播栽培の場合は，マルチ，裸地の差は5%位で大きい差は認められなかった。

くず莢の発生は各区とも5%内外で区間差は認められなかった。

表 2 収量調査

	項 目 試験区	10 a 当たり上英		10 a 当たりくず英		10 a 当たり 総収量 (kg)	上 英 収量比 (対④)	等級別割合(重量%)	
		個 数 (千個)	重 量 (kg)	個 数 (千個)	重 量 (kg)			上 英	くず英
黒 55	① 黒 マルチ育苗移植	518	2,405	33	168	2,573	128	93.5	6.5
	② 裸 地 育 苗 移 植	422	2,035	25	132	2,167	108	93.9	6.1
	③ 黒 マ ル チ 直 播	380	1,845	16	81	1,926	98	95.8	4.2
	④ 裸 地 直 播	389	1,876	27	131	2,007	100	93.5	6.5
	⑤ 裸地直播アーチ支柱	331	1,680	14	72	1,752	90	95.9	4.1
	⑥ 黒 マ ル チ 直 播 ア ー チ 支 柱	370	1,891	18	92	1,983	101	95.4	4.6

⑤ 時期別収穫割合, 育苗移植区は初期(6・下~7・上)収量割合が直播区より高く, 後期収量割合がやや少なくなる傾向を示し, 直播区は7~8月の中期収量割合が高くなり7月下旬に収穫のピークがきた。

表 3 時期別収穫割合(重量%)

	時 期 試験区	6月		7月		8月	
		下 旬	上 旬	中 旬	下 旬	上 旬	中 旬
昭 55	① 黒 マ ル チ 育 苗 移 植	7.4	13.7	26.5	31.2	14.6	6.6
	② 裸 地 育 苗 移 植	6.9	12.1	24.3	32.0	12.6	12.1
	③ 黒 マ ル チ 直 播	0.8	4.0	20.6	46.3	21.7	6.6
	④ 裸 地 直 播	0.7	5.4	20.4	44.9	21.4	7.2
	⑤ 裸地直播アーチ支柱	0.3	4.5	16.0	49.9	21.5	7.8
	⑥ 黒マルチ直播アーチ支柱	0.7	3.9	16.6	48.7	24.3	5.8

⑥ 収穫期間は57日で収穫後半が草丈が長くなり, 支柱が足りなくなって下垂し後期収量が低下した。

⑦ 1英重量は4.4~4.6gであり, 収穫期の英は中の子実が肥大し子実の粒間がなくなるころに収穫されるため, 収穫も2~3日に1回でよく, キヌサヤと異なり毎日の収穫がないため栽培面積の拡大が可能である。

⑧ 英に子実が入っても甘味があり英まで食べられる。

⑨ 収穫終了時の草丈が3.3~3.5mくらいに伸びるので支柱は高いほど良いが, 収穫に苦勞するので, パイプネ

ット支柱が良いと思われる。

(2) 栽培法

1) 育苗法…… ペーパーポット2号(3cm×10cm)に3粒播きとし, パイプハウス内にて育苗する。播種後15~20日で1~2葉となったら定植する。

2) 栽植密度……畦幅120cm, 株間20cm, 2本立, 10a当たり4,166株とする。

3) マルチ……95B穴なしフィルムを使用し, 播種位置に植穴をつけて定植する。

4) 支柱……直立支柱(2.5~3m)にネットを張る。

5) その他栽培耕種概要は, サヤエンドウの栽培に準じてよい。

4 ま と め

スナックエンドウの発芽率はサヤエンドウよりやや劣るが3粒播きして2本立ちにすれば十分足りる。また節間長が長いので着英節位が高くなるが着英高を低くするためには, わい性品種の導入しか方法がない。

栽培法としては育苗移植栽培でポリマルチをすることにより収穫期が早まり, 分枝数の増加により多収となる。

支柱は高いほどよいが収穫に苦勞するので2.5~3m位の直立支柱又はアーチ型のパイプネット支柱がよい。

栽培上の耕種概要はサヤエンドウに準じてよい。